



見た目だけでは、付いているかどうかわからない

スタッド溶接不良問題解決の救世主

# Stud Checker

スタッド・チェッカー

倒れ強度確認装置

2011A

非破壊

スタッド溶接を用いた板金製品を、大手企業に納入しておられる製造業の皆様へ朗報です。製品の不具合の防止や高度化する品質管理体制によって、スタッド溶接部位の溶接品質の検査を要求され、お困りではありませんか？



## スタッド・チェッカーとは？

スタッド・チェッカーは、溶接スタッドの接合精度確認を簡単に行うための装置です。これまでスタッドの接合テストは、スタッドや母材が変形するまで力を加えて行うものでした。しかし、この方法ではテストした製品は使い物にならなくなるという欠点がありました。スタッド・チェッカーは、製品を変形させる事無く、しっかりと接合されているかどうかを確認できます。

**これがあれば安心！** 出荷前検査や自主管理に最適！



頑丈で取り扱い易い専用ケース採用

- 収納部品
- 1.スタッド・チェック用レンチ
  - 2.ソケット M3 M4 M5 M6 M8
  - 3.取扱説明書
  - 4.早見表

注意：アルミのM3は本セットでは未対応です。別添、ご相談下さい。

寸法 ケース：270mm×230mm×80mm(w×h×d) 合計重量 1.8 kg

非破壊

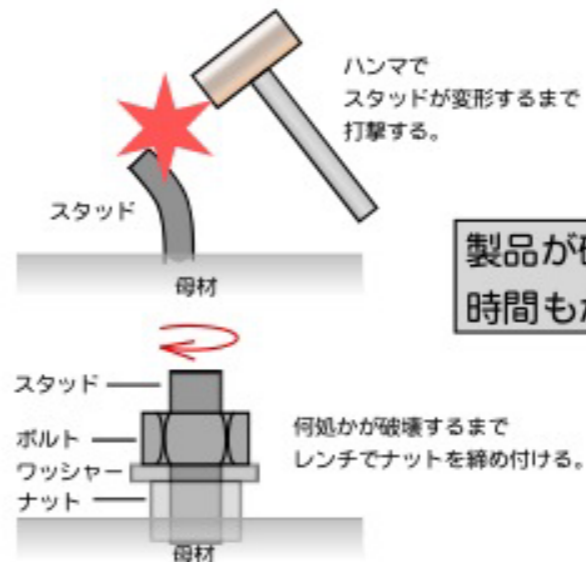
# Stud Checker

スタッド・チェッカー 倒れ強度確認装置

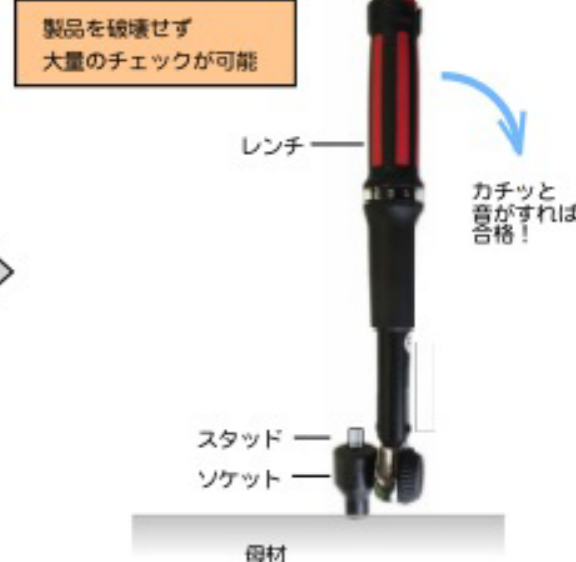
特徴

M3からM8(オプションでそれ以上も可)までのネジ付き溶接スタッドを非破壊でチェックできます。CD、ドローン・アーク、およびショートサイクル・ドローン・アークによるスタッド溶接部位の、接合確認が可能です。丈夫なケースは、すべてのコンポーネントを収納できます。

従来の確認方法



スタッド・チェッカーの確認方法



簡単に使えます

ソケットとレンチを使って、スタッドを倒す方向に力を加えます。レンチには前もってスタッドが母材の板厚に対応した数値に設定を行います。これによって力を加えてゆくと、製品(スタッドや母材)が変形する前に、レンチはカチッという音が鳴るようになります。この音によって、溶接の接合精度の確認ができます。

## スタッド・チェッカーQ&A

- Q1.従来の確認方法と比較して精度は低下しませんか？
- A1.溶接の信頼性を確認するという目的であれば十分な確認が可能です。
- Q2.この方法によって製品がダメージをうける事はありませんか？
- A2.ありません。十分な安全率を考慮しています。
- Q3.レンチの設定値は、どういった根拠で決められていますか？
- A3.スタッドの材質、母材の材質を考慮し、材料特性値をもとに決定しています。但し、この値はあくまで目安で、お客様独自の値を設定して頂く事が可能です。
- Q4.雌ネジやネジ以外のスタッド、異形状のスタッドの確認は可能ですか？
- A4.基本的に可能です。設定値の計算は可能ですので、ご相談下さい。
- Q5.レンチの校正は、可能ですか？
- A5.レンチの校正を行う業者さんをお願いして頂く方法と、弊社で行う方法が御座います。